

7/18（土）人吉災害支援活動報告

参加者：田中信雄、樋口和雄 以上2名

当日5時前に自宅を出発、太宰府にて田中信雄さんと合流し、筑紫野インターから九州自動車道にのり一路人吉へ向かいました。八代⇄人吉間が高速料金が無料とのことで、一度八代インターで降り再度のり直し人吉インターから一般道で温泉物産館へ向かいました。他県からのボランティア募集をしていないこともあり、インターでは渋滞することなく出ることができました。8時30分前には現地到着、9時からの作業開始のため、しばらく周辺を見て回りました。人吉温泉物産館隣にある青井阿蘇神社は災害ごみ置き場になっており、早朝よりトラックでの災害ごみ搬入がなされていました。また、神社門前は一段低くなっているため、被害状況も深刻でした（写真④）。しばらくして田中代表と対面、ご挨拶の後当日の作業内容の説明をいただきました。田中信雄さんと私は、トイレ掃除を担当することとなり、男性用、女性用そして多目的と3ヶ所を二人で担当することとなりました。前回、廣瀬さんをはじめとする第1陣の活動成果もあり、ほぼ手付かずでも良好な状態ではないかと思いましたが、田中代表が言われた通り砂のようなものでザラザラしている箇所もあり、壁⇒手洗い⇒便器へのスポンジを使った水拭き、サンドメッシュでの便器磨き、たわしでの床磨きそしてタオル雑巾での拭き上げをし、最後に二酸化塩素を噴霧し滅菌処理を行いました（写真①、②）。昼食を挿み、後片付けを含み14時30分に終了しました。

特に厄介だったのは、手洗いの下部にある戸袋の中でした。カビや泥の塊があつたりと狭い空間での作業には時間もとられてしまいました。

田中代表には、昼食や飲料をご準備いただき大変お世話になりました。また、作業終了後には熊本市内よりの炊き出しボランティアグループから馬肉うどんをご馳走になりました（炎天下でのうどん、汗かきかきでしたが心もホットになりました）。帰路も往路同様渋滞に巻き込まれることなく無事帰ることができました。



(物産館トイレ①)



(物産館トイレ②)



(神社門前付近)



(人吉温泉物産館)

文責 樋口和雄